第36回教育相談研修会

平成22年８月17日（火）～19日（水）
会場　新潟会館（中央区幸町３）

１　ねらい

少人数グループによる実習（体験研修）を通して、カウンセリングの実際を学び、児童生徒をより深く理解する技量や心に響く指導・支援の方法、教育相談（カウンセリング）の技法を身につける。

２　内　容

○児童生徒と教師との心の在り方を実習する。

○傾聴訓練、ロールプレイ、構成的グループエンカウンターの実習を通して、「受容」とは何か、「共感」とは何かを探り、教育の場にどのように生かせばよいか考える。

３　日程の概要

	9:00	9:30	10:00	11:20	11:30	12:30	13:30	17:30	18:00	20:0
17日（火）		受付	開講式	講義	着替	グループ実習１	昼食	グループ実習２		夕食 懇親会
18日（水）	朝食		グループ実習３			12:00 昼食	13:00	グループ実習４		夕食 情報交換
19日（木）	朝食		グループ実習５	11:20	閉講式 11:50	企運委 反省会	4階「やまぶき」		18:30	

本年度の指導陣

菊池　秀夫	新潟市立紫竹山小学校長
石原　　護	新潟市立真砂小学校長
山田　友明	新潟市立南万代小学校長
佐藤　修一	村上市立村上第一中学校長
金子　　智	胎内市立堤岡小学校長
堀江　康之	長岡市立下川西小学校長
木澤　　弘	柏崎市立鯖石小学校長
佐藤　隆夫	新潟市立笹山小学校教頭
山田　喜浩	柏崎市立鯖石小学校教頭
門野　慎一	新潟市立万代長嶺小学校教諭
栗林　俊哉	魚沼市立小出小学校教諭
鈴木　正彦	県立柏崎養護学校のぎく分校教頭
金平弘之郎	胎内市立黒川小学校教諭
中川　日里	新潟市教育委員会指導主事
山口真希子	県立はまなす養護学校教諭
井筒　正之	燕市立吉田小学校教諭
舘岡　信也	附属長岡小学校教諭
中島　　崇	新発田市立五十公野小学校教諭
小澤美弥子	新潟市立岡方第一小学校教諭
野澤憲之輔	新潟教育会　教育アドバイザー

来年度の研修会実施予定

八月十七日（水）～十九日（金）
新潟会館にて二泊三日の日程
※最終日は、午前で終了

気持ちに寄り添う…

燕市立吉田北小学校
梅津　礼

夏休みに教育相談研修会に参加する機会をいただきました。初めての参加、三日間の研修ということで正直少し不安な気持ちでのスタートでした。

初日に、山田友明先生の講義がありました。カウンセリングの考え方、心理療法の理論、カウンセラーとしての教師のあり方をお話しいただきました。私が特に心を動かされたことは、「聴くことの効果」のお話です。相談者にとって自分を理解してくれる人がいるということは最大の強みであり、そのような『自由と安全の心理的風土』が自己理解の促進、その先の行動変容につながっていくということです。相談者が「安心して話せる」「共に考えていきたい」と思える信頼関係こそがカウンセリングの土台であること、その土台作りからスタートすることの大切さを学びました。

私が参加したステップ1では、傾聴、ロールプレイ、ミニカウンセリングを繰り返し体験しました。活動後は、互いに感じたことや疑問を素直に出し合いました。全員で一つ一つの言葉を共有し、すり合わせながら「聴く」ことについて考え、新たな気づきを得ていきました。

相手の気持ちに寄り添い、相手の心に「ことん」と落ちるような言葉を選んで相手に返していくことこそが、共解的な理解につながることを学びました。今後も、多くの方々とのかかわりを大切にしながら、色々な経験を積み重ね、多角度から物事を考えたり、相手の気持ちを考えたりできる教師になるために努力をしていきたいと思います。

この三日間で、今の私自身は目の前にいる相手の気持ちに寄り添うことができているのか、自分の枠で相手の感情を決めつけて分かった気になっているのではないか、深く考えました。教職に就いて六年目の夏。「聴く」ことに徹したこの研修で、沢山の刺激を受け、教師としての心構えを改めて学ぶことができました。

三日間、温かくご指導いただきました先生方、共に研修を受けたグループの皆様に心より感謝申し上げます。